

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	業務課				記 入 者	野崎 智	
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 3 節	第 1 項	事務事業名	へい獣保冷库維持管理事業	
施 策	第	へい獣処理					
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第25条、第26条						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	へい獣保冷库における搬入申請及び領収書等の交付、運転操作監視業務、保守点検業務、死亡獣畜の保管並びに廃棄物の処理及び清掃を行う。受付管理業務を最上共同クリーン(株)、死亡獣畜の運搬・処理業務を(株)東昇及び三共理化工業(株)に委託している。						

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 修繕費 (千円)	1,691	-	38	-	
2 委託費 (千円)	8,420	-	7,269	-	
3 搬入頭数 (頭)	392	-	291	-	

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	8,561	11,290	8,608	9,121	9,071	
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他	5,468	6,022	4,659	5,430	5,430	
	一 般 財 源	3,093	5,268	3,949	3,691	3,641	
人件費	従事職員数	0.34	0.24	0.26	0.16	0.16	
	人 件 費	2,387	1,685	1,835	1,129	1,129	
費用合計	10,948	12,975	10,443	10,250	10,200		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度は大きな修繕もなく死亡獣畜の搬入は前年度比で101頭の減であった。そのため事業費も例年並みで、大きなトラブルもなく安定的な施設運営を行うことが出来た。	今後について 施設の延命化を図りながら安定的かつ効率的な受付管理を維持していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は42.0。産業廃棄物の一時保管施設として今後も事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点は42.5。継続が必要である。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	業務課				記 入 者	野崎 智	
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 1 節	第 1 項	事務事業名	エコプラザもがみ包括運転管理事業	
施 策	第	ごみ処理					
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第15条・16条						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分		<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	運転操作監視業務、計量業務、保守点検業務、冷却室等清掃、雨水排水路清掃、床面・階段・手摺塗装業務、施設見学対応、各分析業務等に、消耗品の手配や電気料等の支払い等を加えた業務を最上共同クリーン(株)に委託している。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 包括運転管理委託費(千円)	203,500	-	210,650	-		
2 可燃ごみ搬入量 (t)	18,754.99	17,221.24	18,625.94	92.5	循環型社会形成推進地域計画	
3 薬品使用量 (kg)	94,830.25	-	98,911.75	-		

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	163,260	203,500	210,650	213,312	213,312	令和2年度より運転業務、各種分析業務、消耗品の手配・管理業務を含めた包括運転管理業務としている。
	財 国・県支出金						
	財 地方債						
	財 その他	31,400	31,395	25,950	32,423	34,030	
	財 一般財源	131,860	172,105	184,700	180,889	179,282	
人件費	従事職員数	0.54	0.19	0.19	0.42	0.42	
	人 件 費	4,032	1,334	1,341	2,964	2,964	
費用合計		167,292	204,834	211,991	216,276	216,276	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	施設全体の効率化を考えながら突発的な事案に迅速に対応するなど、的確に運営されている。また、毎月のモニタリングと半期毎の業務報告会を実施し適正運営に努めている。
今後について	今後も施設全体の効率的な運転を図るため、省エネ対策として、デマンド管理によるエネルギー消費の少ない設備の運転方法を実施するなど工夫しながら、可能な対策を講じていく。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	評点は44.4。当組合で実施すべき事業であり、地域に必要な不可欠な施設である。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。	

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合	
理由	評点は44.0。継続が必要である。完全包括の実施、コストの削減を検討する必要がある。	

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	業務課				記 入 者	野崎 智	
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 1 節	第 1 項	事務事業名	エコプラザもがみ維持管理事業	
施 策	第	ごみ処理					
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、電気事業法、計量法、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第15条・第16条						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	施設の安定的かつ円滑な稼働のために排ガス等の排出物及び搬入ごみの物質分析の実施、計量器含む機器の点検、及び施設の維持管理のための各設備の計画的修繕を実施する。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 電気使用量【本体】 (kwh)	3,368,718	3,180,382	3,193,240	99.6	基幹改良後電気量平均の95% (5%削減)	
2 修繕費 (千円)	28,417	-	27,369	-		
3						

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	438,534	483,311	642,581	452,383	418,999	※国庫補助金・組合債 【令和3年度】 破砕機設置工事 1億8,700万円
	財 国・県支出金			62,333			
	地 方 債			112,200			
	そ の 他	84,895	73,256	79,197	68,772	66,859	
	一 般 財 源	353,639	410,055	388,851	383,611	352,140	
人件費	従事職員数	1.05	0.35	0.35	0.65	0.65	
	人 件 費	7,840	2,457	2,470	4,586	4,586	
費用合計		446,374	485,768	645,051	456,969	423,585	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	住民生活の安心安全のため施設の安定的で円滑な稼働を行っている。具体的にはポンプ設備や4分析計等測定装置、またクレーンの修繕など計画的に実施する、また突発的な設備の故障に適切かつ迅速に対応している。さらに令和3年度はギロチン式の破砕機を設置し、布団や畳などを破砕して焼却できるようした。	今後について 老朽化が進む施設であるので計画的に修繕や維持管理を行い、安全な施設稼働を維持したい。

【1次評価】		
1次評価	<h1 style="font-size: 2em;">B</h1> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は44.8。安定的かつ計画的な事業実施が図られている。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	<h1 style="font-size: 2em;">B</h1> A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃 止 <input type="checkbox"/> 拡 大 <input type="checkbox"/> 休 止 <input type="checkbox"/> 縮 小 <input type="checkbox"/> 終 了 <input type="checkbox"/> 削 減 <input checked="" type="checkbox"/> 継 続 <input type="checkbox"/> 統 合
		理由 評点は41.5。継続が必要である。施設の老朽化に伴い修繕料が増加傾向にあり、維持管理を含めた包括委託の検討が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主 管 課	業務課				記 入 者	野崎 智	
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 1 節	第 1 項	事務事業名	エコプラザもがみあたご・泉川地区環境対策協議会	
施 策	第	ごみ処理					
実施根拠・根拠法例等		公害防止協定第7条第2項、環境対策協議会規程第5条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	あたご・泉川地区のエコプラザもがみ環境対策協議会の方々へ、環境配慮やごみ排出の傾向の説明を実施することで、事業内容への理解や組合、市町村が連携して取り組んでいるごみ排出量減量努力への理解と認識を促進する。						

【事業実績等】					
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠
		目標値	実績	達成度	
1 開催回数 (回)	2	-	2	-	あたご地区 1回、泉川地区 1回
2 参加人数 (人)	19	-	16	-	あたご地区7名、泉川地区9名
3					

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	60	60	60	60	あたご地区 30千円 泉川地区 30千円
	財 国・県支出金					
	地 方 債					
	そ の 他					
	一 般 財 源	60	60	60	60	
人件費	従事職員数	0.14	0.11	0.09	0.04	0.04
	人 件 費	1,045	772	635	282	282
費用合計	1,105	832	695	342	342	

【現状分析及び今後について】	
現状分析	年1回エコプラザもがみ環境対策協議会を施設周辺各地区で開催し、ダイオキシン測定結果や施設の現状を説明することで、地区住民の方にごみ処理施設の運営への理解やごみ分別の意識を高めている。これまでも周辺地区に影響があるダイオキシン類数値は出ておらず、安全安心な施設運営がされていると住民に理解されている。
今後について	今後も、毎年定期開催することにより、事業に対する地区の理解を十分に得られるよう努めていく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	評点は46.4。施設周辺地域との協力体制は必要不可欠であるため、継続して実施すべきである。	

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合	
理由	評点は43.0。継続が必要である。	

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】								
主管課	業務課				記入者	小内 尚史		
広域圏計画	第2部	第1章	第1節	第2項	事務事業名	リサイクルプラザもがみ運転管理事業		
施策	第	ごみ処理						
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、環境省令、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第15条・第16条							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	不燃ごみ処理施設であるリサイクルプラザもがみにおける運転管理業務、業務報告、運転操作監視業務、公害規定値などの順守、各種機器等の管理を、株式会社エコ産業へ複数年度に渡って委託している。							

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 運転管理委託料（千円）	158,840	-	175,939	-		
2 不燃ごみ搬入量（t）	2,086.33	1,739.11	1,889.23	92	循環型社会形成推進地域計画	
3						

【事業費等】							（単位：千円）
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	157,396	158,840	175,939	175,939	175,939	令和3年4月1日 ～ 令和13年3月31日 包括運転管理委託 (10年間)
	財 国・県支出金						
	財 地方債						
	財 その他	22,440	22,998	24,714	16,196	17,569	
財 一般財源	134,956	135,842	151,225	159,743	158,370		
人件費	従事職員数	0.32	0.29	0.29	0.32	0.32	
人件費	人件費	2,258	2,046	2,046	2,258	2,258	
費用合計	159,654	160,886	177,985	178,197	178,197		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	リサイクルプラザもがみの安定的な運転管理を行っている。計量窓口にて分別周知のための小冊子の配布や、搬入物の受入可否についての指導など、ごみ分別の啓発やごみ減量化に努めている。また、毎月のモニタリング報告会にて業務内容等の報告及び意見交換を行いながら、施設の適正な運営に努めている。	今後について 令和3年度より10年間の包括運転管理業務委託が開始した。施設の安定的かつ効率的な運営を行いつつ、これまで以上に、ごみ減量化に向けた周知又は指導について注力する必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は45.2。当組合で実施すべき事業であり、地域に必要な施設である。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は43.0。継続が必要である。コストの削減が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】							
主管課	業務課				記入者	小内 尚史	
広域圏計画	第2部	第1章	第1節	第2項	事務事業名	リサイクルプラザもがみ維持管理事業	
施策	第	ごみ処理					
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、電気事業法、環境省令、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第15条・第16条						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	リサイクルプラザもがみにおける不燃ごみ及び各種資源物の処理を安定的かつ継続的に行うために、各種機器の点検及び計画的修繕などを実施する。						

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 電気使用量 (kWh)	532,849	489,189	491,818	99	令和元年度～令和3年度の平均値の5%減	
2 修繕費 (千円)	792	-	1,718	-		
3 薬品使用量 (kg)	2,141.4	-	1,875.6	-		

【事業費等】							(単位：千円)
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	27,751	15,445	16,468	20,387	19,637	【令和3年度】 重機車庫シャッター修繕 1,386千円 【令和4年度】 高圧気中開閉器更新修繕 750千円
	財源						
	国・県支出金						
	地方債						
人件費	その他	3,964	2,240	2,299	1,882	1,961	
	一般財源	23,787	13,205	14,169	18,505	17,676	
従事職員数	0.45	0.35	0.35	0.45	0.45		
人件費	3,175	2,470	2,470	3,175	3,175		
費用合計	30,926	17,915	18,938	23,562	22,812		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	リサイクルプラザもがみの各種機器について、定期的な点検及び修繕等を実施しながら、日々の各種搬入物を安定的かつ継続的に処理している。また、省エネを図りながら、最小限のコストで最大限の成果を出せるよう努めている。	今後について 施設稼働から24年が経過していることから、施設内各所で老朽化による故障等が発生しているが、今後も施設延命化を踏まえた計画的な修繕を行いながら、安定的かつ継続的な施設稼働を維持していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	理由 評点は46.8。安定的かつ計画的な事業実施が図られている。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	B A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理由 評点は41.5。継続が必要である。施設の老朽化に伴い修繕料が増加傾向にあるため、計画的な修繕が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	業務課				記入者	小内 尚史
広域圏計画	第2部	第1章	第1節	第2項	事務事業名	リサイクルプラザもがみ分別資源物処理事業
施 策	第	ごみ処理				
実施根拠・根拠法例等	全国都市清掃会議の広域回収・処理計画他					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	最終処分場の延命化や資源の損失を防ぐために、使用済乾電池を含む各種分別基準適合物を処理事業者へ単年度契約にて引渡を実施し、リサイクル（再資源化・再商品化）を行っている。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 資源物売却等（千円）	12,159	12,159	18,255	150	前年度実績並み	
2						
3						

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	2,308	2,379	2,322	2,476	2,476	
	財 国・県支出金						
	地 地方債						
	そ 其他						
訳 一般財源	2,308	2,379	2,322	2,476	2,476		
人 従事職員数	0.19	0.44	0.39	0.31	0.31		
件 人 件 費	1,341	3,105	2,752	2,187	2,187		
費用合計	3,649	5,484	5,074	4,663	4,663		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	各種分別基準適合物を選別し、それらを各処理事業者へ引渡して適正なリサイクルを行っている。 使用済乾電池についても水銀の適正処理が可能な処理事業者へ引渡して、生活環境への悪影響を防いであらリサイクルを行っている。 令和3年度は、これまで廃棄物として処理せざるを得なかった品目が資源物としてリサイクルが可能となり、埋立量の減量化及びリサイクル率の向上を図った。	今後について 今後もごみの減量化及び最終処分場の延命化を図るために、リサイクルの可否について再検討を行い、リサイクルを推進する必要がある。また、各種分別基準適合物を適切な状態で搬入するよう各所に促していく必要がある。

【1次評価】		
1次評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は47.6。目標を達成できており、ごみの減量化のためにも継続して分別及びリサイクルに関する周知等を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	B	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点は44.5。継続が必要である。分別によるごみ減量化に努めることが求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主 管 課	業務課				記 入 者	小内 尚史
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 1 節	第 2 項	事務事業名	リサイクルプラザもがみ太折地区座談会
施 策	第	ごみ処理				
実施根拠・根拠法例等	協定書第1条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 内部事業			評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業 <input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	リサイクルプラザもがみが位置する舟形町太折地区の住民の方々へ、事業内容の説明等を通して廃棄物処理行政や施設の運営、ごみ減量化への理解・協力を促進する。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 開催回数 (回)	1	-	1	-		
2 参加人数 (人)	30	-	31	-		
3						

【事業費等】 (単位：千円)							
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	100	100	100	100		
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他						
一 般 財 源	100	100	100	100	100		
人 件 費	従事職員数	0.17	0.10	0.10	0.04		0.04
人 件 費	人 件 費	1,200	706	706	282		282
費用合計	1,300	806	806	382	382		

【現状分析及び今後について】	
現状分析	<p>定期的に座談会を開催し、事業内容の説明を行ったうえで舟形町太折地区の住民から出された質問や要望事項に対して適切に対応することで、理解及び協力が得られている。</p> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">今後について 今後も継続的に舟形町太折地区の住民との座談会を開催し、適切に対応することで、廃棄物処理行政や施設の稼働などに対する理解及び協力を得られるように努めていく必要がある。</p>

【1次評価】		
1次評価	A	<p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> <p style="font-size: small;">理 由 評点は49.2。施設周辺地域との協力体制は必要不可欠であるため、継続して実施すべきである。</p>

【2次評価】		
総合評価	B	<p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> <p style="font-size: small;">今 後 の 方 向 性 <input type="checkbox"/>廃 止 <input type="checkbox"/>拡 大 <input type="checkbox"/>休 止 <input type="checkbox"/>縮 小 <input type="checkbox"/>終 了 <input type="checkbox"/>削 減 <input checked="" type="checkbox"/>継 続 <input type="checkbox"/>統 合</p> <p style="font-size: small;">理 由 評点は45.0。継続が必要である。</p>

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】						
主管課	業務課				記入者	小内 尚史
広域圏計画	第2部	第1章	第1節	第2項	事務事業名	最終処分場維持管理事業
施策	第	ごみ処理				
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、環境省令、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第15条・第16条					
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業
事業の目的・内容 実施方法等	資源化ができない不燃物や処理困難物の埋立処分を行う最終処分場を適正管理するために、湧ガス、放射性物質、排水の分析測定を行っている。					

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 廃棄物埋立量 (m³)	4,060	-	3,910	-		
2 修繕費 (千円)	23,320	-	332	-		
3 工事費 (千円)	0	-	3,850	-		

【事業費等】							(単位：千円)
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考	
事業費内訳	予算・決算額	24,246	24,537	5,399	16,705	1,305	【令和3年度】 放流水路補修工事 3,850千円 【令和4年度】 砂ろ過・活性炭吸着塔制御盤及び接触材等更新修繕 15,400千円
	財 国・県支出金	416	495	495	583	583	
	財 地方債						
	財 その他	3,397	3,474	693	1,530	78	
人件費	従事職員数	0.07	0.20	0.15	0.22	0.22	
	人件費	494	1,411	1,058	1,552	1,552	
	費用合計	24,740	25,948	6,457	18,257	2,857	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度に放流水路補修工事を実施し、適切な排水経路の確保により水質の維持を図った。 埋立物の転圧作業を行いながら最終処分場延命化についても念頭に置いて施設を稼働している。	今後について 令和23年度まで最終処分場の稼働を予定しているため、施設の計画的な維持管理に加え、埋立廃棄物の削減について取れる方策を常に検討しながら施設を稼働する必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
理由	評点は49.6。安定的かつ計画的に施設を稼働している。施設の延命化を図るため、分別及びリサイクルの周知を行い、ごみ減量化を推進する必要がある。	

【2次評価】		
総合評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合	
理由	評点は48.5。継続が必要である。分別によるごみ減量化などにより、延命化を図っていく必要がある。	

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】											
主 管 課	業務課				記 入 者	渡邊 充広					
広域圏計画	第 2 部	第 1 章	第 2 節	第 2 項	事務事業名	もがみクリーンセンター運転管理事業					
施 策	第	し尿処理									
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、最上広域市町村圏事務組合組合行政組織規則第17条、第18条										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業		<input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業		<input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	法律で定められた圏域の廃棄物（し尿及び汚泥）を安定的に処理することを目的に、もがみクリーンセンターを運営している。運営に当たっては、修繕を含む包括運転管理業務を住友重機械エンパイロメント㈱に10年契約で委託し、委託業務対象外の修繕は当組合で行うことで、官民一体となって円滑な施設運営に当たっている。										

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 包括運転管理委託費（千円）	254,100	—	254,100	—		
2 し尿搬入量（kℓ）	25,585	25,585	24,916	103	前年度実績による。	
3						

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	251,790	254,100	254,100	254,100	254,100	(包括運転管理業務委託) 平成28年度～令和7年度 (10年間)
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他	4,106	3,672	3,575	3,494	3,550	
一 般 財 源	247,684	250,428	250,525	250,606	250,550		
人 件 費	従事職員数	0.34	0.34	0.34	0.24	0.24	
人 件 費	2,539	2,387	2,399	1,693	1,693		
費用合計	254,329	256,487	256,499	255,793	255,793		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	令和3年度は10年の包括運転管理業務委託の6年目になる。圏域内から排出される「し尿・浄化槽汚泥」の処理を絶え間なく安定的に行っている。なお、当組合としては毎月のモニタリングと半期毎の業務報告会を実施し、適正運営に務めている。	今後に ついて いて

【1次評価】		
1次評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
		理由 評点は48.4。衛生施設においては唯一プラントメーカーが運転管理を行っている施設であるため、安定的に稼働されている。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る
		今後の 方向性 理由 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 評点は50.5。継続が必要である。プラントメーカーによる包括管理を行っており、更なる安定稼働が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】								
主 管 課	業務課				記入者	渡邊 充広		
広域圏計画	第2部	第1章	第2節	第2項	事務事業名	もがみクリーンセンター維持管理事業		
施 策	第	し尿処理						
実施根拠・根拠法例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第17条、第18条							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業	<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業	<input type="checkbox"/> 内部事業	評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業	<input type="checkbox"/> 説明事業		
事業の目的・内容 実施方法等	法律で定められた廃棄物（し尿及び汚泥）を安定的に処理することを目的に、もがみクリーンセンターを運営するため、運転管理業務委託に含まれない緊急修繕等の実施や、処理過程で発生する「し渣・沈砂」を処理場まで適正に搬出するための運搬業務委託をマルミツ産業㈱に委託している。							

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 修繕料（千円）	968	—	0	—		
2 し渣・沈渣発生量（t）	38	38	39	97	前年度実績による。	
3 電気使用量（kWh）	1,323,726	1,317,047	1,270,231	104	令和元年度～令和3年度の平均値	

【事業費等】							（単位：千円）
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	27,848	26,153	31,023	34,281	28,707	【令和3年度】 放流水路護岸整備工事測量設計業務 4,268千円 【令和4年度】 放流水路護岸整備工事 5,574千円
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他	456	390	438	472	400	
	一 般 財 源	27,392	25,763	30,585	33,809	28,307	
人件費	従事職員数	0.34	0.34	0.34	0.24	0.24	
	人 件 費	2,539	2,387	2,399	1,693	1,693	
費用合計	30,387	28,540	33,422	35,974	30,400		

【現状分析及び今後について】		
現状分析	もがみクリーンセンター放流水路付近にある水門の修繕を実施した。また、し尿処理の過程で排出された「し渣・沈砂」の各処理場への運搬をマルミツ産業㈱に委託している。	今後について 計画的な修繕はもとより、災害等による緊急修繕にも対応していく必要がある。また、「し渣・沈砂」の処分についても今後も安定的に継続する必要がある。

【1次評価】		
1次評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は49.2。安定的かつ計画的な事業実施が図られている。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点は49.0。継続が必要である。今後も計画的な修繕が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】											
主 管 課	業務課				記 入 者	渡邊 充広					
広域圏計画	第2部	第1章	第2節	第2項	事務事業名	もがみクリーンセンター脱水汚泥運搬処理事業					
施 策	第	し尿処理									
実施根拠・根拠法例等	最上広域市町村圏事務組合行政組織規則第18条										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業		<input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業		<input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	もがみクリーンセンターから排出される脱水汚泥を安定的・継続的に処理するため、平成31年4月から3カ年契約で山形市の㈱キヨスミ産研へ排出し焼却処分を実施している。										

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 汚泥搬出量 (t)	1,127	1,127	966	114	前年度実績による。	
2						
3						

【事業費等】							(単位：千円)
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考	
事業費内訳	予算・決算額	35,478	34,461	29,548	35,143	35,046	(脱水汚泥運搬処理業務委託) 令和元年度～令和3年度 (3年間)
	財 国・県支出金						
	地 方 債						
	そ の 他		498	416	485	488	
一 般 財 源	35,478	33,963	29,132	34,658	34,558		
人 件 費	従事職員数	0.19	0.29	0.44	0.24	0.24	
	人 件 費	1,419	2,036	3,105	1,693	1,693	
費用合計		36,897	36,497	32,653	36,836	36,739	

【現状分析及び今後について】		
現状分析	山形市の㈱キヨスミ産研と3カ年の脱水汚泥運搬処理契約を結んでおり、令和3年度は最終年の3年目となる。運搬専用コンテナによる運搬と焼却処分による安定的な処分を行っている。	今後について 今後も必ず脱水汚泥は発生するため、安全かつ安定的に処理を行う必要がある。現在は山形市へ搬出し焼却処理を行っているが、今後は一部を堆肥化する施設にも搬出し、汚泥のリサイクル化を推進していく。

【1次評価】		
1次評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 理 由 評点は49.6。脱水汚泥の安定処理は必要不可欠である。事業費を精査しつつ事業を継続する必要がある。

【2次評価】		
総合評価	A	A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 理 由 評点は49.0。継続が必要である。脱水汚泥の安定処理を継続し、更にはリサイクルなどについても調査・検討が求められる。

令和3年度 事務事業評価票

【基本項目】											
主 管 課	業務課				記入者	渡邊 充広					
広域圏計画	第2部	第1章	第2節	第2項	事務事業名	もがみクリーンセンター畑地区座談会					
施 策	第	し尿処理									
実施根拠・根拠法例等	協定書第1条										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定事業		<input checked="" type="checkbox"/> 単独事業		<input type="checkbox"/> 内部事業		評価区分	<input checked="" type="checkbox"/> 評価事業		<input type="checkbox"/> 説明事業	
事業の目的・内容 実施方法等	もがみクリーンセンターがある新庄市畑地区の住民と施設のより良い運営を目指し、管理状況等の説明と意見交換を行う。										

【事業実績等】						
指標等名称	前年度実績	当該年度			目標値設定根拠	
		目標値	実績	達成度		
1 開催回数 (回)	1	1	1	100	協定書による。	
2 参加人数 (人)	7	-	10	-		
3						

【事業費等】 (単位：千円)						
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
事業費内訳	予算・決算額	30	30	30	30	
	財 国・県支出金					
	地方債					
	その他					
人件費	従事職員数	0.11	0.11	0.11	0.04	0.04
	人 件 費	821	772	776	282	282
	費用合計	851	802	806	312	312

【現状分析及び今後について】	
現状分析	畑地区との協定書第1条に基づき、座談会を毎年継続して開催しており、役員会の質問・要望に対応している。畑地区住民の広域事業への理解を得ると共に、情報交換の場として機能している。
今後について	今後も毎年開催し、地域住民の理解を得ながら施設運営を行う必要がある。

【1次評価】	
1次評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> <p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> </div> <div style="width: 30%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">理由</div> <div style="width: 35%;"> <p>評点は48.8。施設周辺地域との協力体制は必要不可欠であるため、継続して実施すべきである。</p> </div> </div>

【2次評価】	
総合評価	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">A</p> <p>A:期待を上回る B:概ね期待どおり C:期待を下回る</p> </div> <div style="width: 30%; writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">今後の方向性</div> <div style="width: 35%;"> <p> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 削減 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 統合 </p> </div> </div>
理由	評点は48.5。継続が必要である。